

平岡町土山T様邸完成見学会3月30日31日開催！



今回も土山のT様邸で完成見学会を開催させていただきます！T様、ご協力頂き誠にありがとうございます。現在、完成に向けて着々と工事の方は進んでおります！T様邸は見どころ満載！オール電化に蓄熱暖房機に太陽光発電や収納部分も充実！外壁の張り分け等も参考になれる事と思います。間取りや細かい部分での当社の仕様やこんな事も出来るのか！と言った部分もあると思います！

空間のムダを省き階段下収納やご家族のご意見をふんだんに取り入れた世界に一つだけのお宅です！

土地の制限や建築基準法などの決められた条件の中から最大限に空間を活用させて頂きました。私自身も大変勉強になったお宅です。

建物は5LDKと大きく、間取りの取り方や動線などもお客様と共に何度も考えました。土間収納やパントリーなどもあり、エクステリア工事もさせて頂いておりますのでそちらも参考になる事と思います。T様とは中学の時の同級生で去年、震災復興支援、宮城県のがれき撤去の支援活動にて再会させて頂き、それがご縁で家を建てさせて頂く事となりました。本当にご縁で、凄いですね。感謝感謝です。

本当にありがとうございます。3月30日31日は皆様にお会い出来る事を楽しみにしております。OBのお客様も是非遊びに来て下さい。夢はかなう！妥協しない！理想の家をあきらめない！だって一生もんだもの！ですねっ!!(^)!

SK加古川通信

第74号
平成25年3月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

絆
願・日本復興
白矢公一

別府A様邸完成！ありがとうございました！



A様、この度は当社にリフォーム工事をお任せ頂き本当にありがとうございました。心より感謝致します。家の様子が変わってくるにあたり、毎日がワクワクの連続でございました。ご主人様も奥様もとてもセンスが良いので私の方がもしかして毎日見ていたので完成した時の感動が大きかったかと・・・（笑）見た目は新築となんら変わらないレベルまで持ってこれたと自分では思っています。ある意味私にとっても挑戦！でした。ご主人様と奥様の素敵なセンスをどうにか最大限、形にしたい！その想いが原動力になりました。建築中はお父様やお母様にもお世話になり、職人さん、業者さん共々みんな感謝しております。A様のリフォーム工事に携われた事、心より感謝致します。

工事内容は2階の洋室の床と1階のトイレの便器を除きすべて改装させて頂きました。建具等も面材を張る事で新品となんら変わらないようになり、新しい方法など色々取り入れる事が出来、私にとってもすごく勉強になりました。そしてとても楽しくお仕事をさせて頂けた事ご縁がありました事に本当に心より感謝致します。仕事が楽しいと時間が経つのもあっというま・・・（笑）もっとこの家に関わっていたかった（笑）詳しくは施行中の写真も記載させて頂いておりますのでブログ「御用聞き白矢が行く！」を見て頂ければ幸いです。A様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願致します！

御用聞きのひとりごと・・・

最近はずいぶん暖かくなり、春の陽気が漂っておりますね。お仕事があると毎日が充実して本当にありがたく思います。お客様に本当に心から感謝です。働ける事がいかにありがたい事か本当に身に染みて実感しております。人様に仕事を通じて必要として頂ける事がいかに幸せな事か本当に心より感謝しております。私は過去に交通事故に巻き込まれ、足首2か所と腰骨を圧迫骨折し、3か月の入院、ギブスが取れるまで半年以上かかり、その後も装具を付けないと歩けない日々を一年近く過ごしました。その後も後遺症が残り、今だ無理をすると後でえらい目にありますが、それでも、お仕事があって、働ける事は本当にありがたい事です。仕事をしたくても出来ない・・・その時の辛さの方が私にとっては苦以外のなにものでもありませんでした。現場に行く事も出来ないチェックする事も見ることも出来ない・・・打ち合わせ通りになっていないなど・・・

なので今は本当に幸せです。好きな時に現場に行けて好きな時に段取りも出来て、いい業者さんや職人さんにも恵まれ、いいお客様ともめぐり合い、こうしてお仕事させて頂ける。私にとってはそれが最高の人生です。本当に心より感謝致します。最近の楽しみはやっぱり田舎の家を見に行く事です。じいちゃんが建てた家はいかにアレンジして古民家を再生させるか・・・お金は親父が出てますが（笑）息子は口を出すだけです、やっぱりこれから親父が住んで行く家なんでこれからの生活の事もちゃんと取り入れて住みやすい家にならなければと色々考えてます。周りには市場もコンビニも病院もありません・・・歩いて買い物なんて到底無理なお話・・・それでも田舎の家に帰りたいと親父は言ってます。15歳で田舎から集団就職で神戸へ、仕事しながら夜間高校で勉強し、その後、結婚して加古川に家を建て、仕事柄、出張ばかりで家におりませんでした、一生懸命に働いて、私達を育ててくれました。長い出張生活では海外で言葉も通じず何度も孤独と寂しさで心が折れそうになったと言っていました。それでも、家族の為に同じ会社で半世紀以上働いて来た親父は、私にとっては誇りです。とか言いながら、つつい偉そうになってしまうんですけどね（笑）口では言いにくいですが住みやすい家にしてあげたいと思います。感謝の気持ちを込めて・・・



御用聞き しらや こういち